

局の動き

経済 産業部

「物流効率化講演会」を開

「物流効率化講演会」を8月16日に豊見城村立中央公民館にて開催しました。

経済産業部では、卸売業者や物流業者等を対象とし、物流効率化に対する意識啓発を図るための講演会を開催しております。

今回は、豊見城村商工会から開催の要望がありました。村では、現在、豊見城村地先開発事業による臨空港型産業用地の造成が進められております。

講師には、中小企業総合事業団の物流効率化アドバイザー、藤松英也(株)日本ロジスティクス総合研究所 シニアコンサルタント氏を迎え、「流通変革時代に求められる物流システムと共同物流戦略」をテーマに講演を行いました。

藤松講師からは、流通変革によって企業に求められているコスト削減と物流サービスレベルについて、従来の物流管理とは異なるロジスティクスシステム構築の必要性が説明され、併せて共同物流のしくみと国の支援策、取組事例と共同物流事業成功のポイントが紹介されました。



農林 水産部

初任者研修で農作業体験 —さとうきび黒穂病駆除—

去る6月28日に中城村内のほ場において、県内各地で二十数年ぶりに発生しているさとうきび黒穂病の駆除を行うため、農林水産部若手職員が中心となって罹病株の抜取り作業を行ないました。これは、平成13年度農林水産部初任者研修の農作業体験の一環として実施したもので、4名の研修生の他に農林水産部職員十数名が参加しました。

黒穂病は、糸状菌(カビ類)の一種である黒穂病菌の胞子が周辺のさとうきびに伝搬し、蔓延します。黒穂病の症状としては、茎の新葉が黒褐色の鞭状になり、茎長や節間は長くなり、スキ状にやせ細り、のちに枯死してしまいます。黒穂病対策としては、薬剤による防止法もありますが、罹病株の抜取りによる耕種的の防除方法がより効果的であることから、今回の農作業体験が実施されました。



農作業体験では、猛暑の中、「中部地区さとうきび生産振興対策協議会」の金城静光事務局長から罹病株の見分け方や抜取り作業の手順が紹介された後、農林水産部職員による懸命な作業が行われました。

今回参加した研修生達からは、「短い時間ではありましたがあが、炎天下の中、株抜き作業はかなりの体力を使い、農家の仕事の大変さが身にしみてわかりました。この日の作業は、私たちにとってとても貴重な体験となりました。」とのコメントがあり、今後の沖縄農林水産業の舵取りを担う若手職員にとって、貴重かつ思い出深い一日となりました。

財務部

平成13年6月より EDINETが稼働

EDINET

証券取引法に基づく
有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム

EDINET(エディネット)とは「証券取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム」の愛称です。

“EDINET”は、現在、紙媒体で提出されている有価証券届出書、有価証券報告書等の開示書類の提出、公衆縦覧等の一連の手続を電子化することにより、提出会社の事務負担の軽減、投資家による企業情報へのアクセスの公平・迅速化を図り、もって証券市場の効率性を高めることを目的として開発されました。つまり、証券取引法に基づくディスクロージャー制度を電子化しようとするものです。

開示情報は各財務局(沖縄においては財務部理財課)の閲覧室に設置された縦覧用パソコンによって公衆縦覧に供するとともに、インターネットを利用して広く一般に提供されています。

<http://info.edinet.go.jp>

(平成16年5月31日までは電子媒体での開示は企業の任意でよいこととなっており、それまでの間は当局監理会社のうち紙媒体で提出された分については、当局の縦覧用パソコンでみることとなります。)

局の動き

運輸部

交通需要マネジメント(TDM) 実証実験事業を開始

那覇都市圏の慢性的な交通渋滞の緩和を目的に、運輸部では、二つのTDM実証実験「パークアンドパラide」、「てぶら観光」を企画し、現在、バス四社と貨物運送事業者によってサービスが実施されています。各実験事業の概要は次のとおり。

「パークアンドパラide」

実験期間:8月30日～10月5日(土日・祝日を除く) 実験区間:宜野湾市内駐車場(沖縄コンベンションセンターの斜め向かい)から那覇バスターミナルまでの10.5km、運行回数と運行時刻:朝4回(宜野湾発07:30、07:40、07:50、08:00)、夕方4回(バスターミナル発17:30、18:00、18:30、19:00) 運賃は片道400円で、2種類の乗車券を販売する(10組:3,400円(15%引き)、2枚組(往復):800円)

乗車券の販売所:那覇バスターミナルと宜野湾駐車場(朝のみ) 乗車券は、下りの場合、宜野湾高校前までの既存の路線バスも利用可。

「てぶら観光」

個人観光客を手荷物から解放して、空港からホテルへの手荷物配達サービスを行う。主な内容は次のとおり。

実験期間:8月20日～9月19日、受付時間・場所:09:00～16:00、空港到着ロビー受付カウンター、利用対象者:那覇市内のホテル・旅館に宿泊する個人観光客等、料金:手荷物一個につき200円(30kgまで)。

なお、てぶら観光利用者には、バスの乗車券(那覇市内均一区間)を通常の半額の100円で販売することとしています。

開発建設部

「第8回 漢那ダムまつり」開催される

国土交通省と林野庁は、7月21日から7月31日までを「森と湖に親しむ旬間」と定め、全国各地のダムや森林で湖水まつりやダム見学・スポーツ大会等、様々な行事が実施されています。

沖縄においても、その行事の一環として、去った7月22日(日)に宜野座村に建設された漢那ダムにおいて、「第8回 漢那ダムまつり」が開催されました。当日は晴天にも恵まれ、総勢約6,000人の来客者でにぎわいました。

まつりは「地元中学校吹奏楽部による演奏」で幕を開け「ライブコンサート・うなぎつかみ取り・カヌー体験」等多彩なイベントが催され、「うなぎつかみ取り」では、大勢の子供達が池の中をはしゃぎ回り、その姿は真夏の暑さも清々しく感じられる光景でした。

そして、最後に、夜空を舞い散る花火で、盛大にまつりの幕を閉じました。



開発建設部

平成12年度沖縄総合事務局 開発建設部所管に係る優良施工業者等を表彰



表彰は、平成12年度に完成した開発建設部発注の工事等を施工した業者を局長表彰するもので、6月11日に橋本次長を委員長とする表彰選考委員会を開催し、工事部門375件、業務部門340件の中より、各事務所から推薦のあった案件を対象に評価を行い厳正の結果、他の模範となるものとして工事部門で6社、業務部門で6社、優秀建設技術者部門で8名を優良施工業者等として決定し、表彰することといたしました。

表彰式は、7月11日「かりゆしアーバンリゾート那覇」において、吉田局長の式辞に始まり、橋本次長の講評、表彰状の授与、受賞者代表謝辞等滞りなく行われました。

吉田局長は式辞において「受賞された皆様は、それぞれの分野においてハイレベルな仕事をされ、質の高い、県民共有の公共施設を整備をしていただき、その尽力に対し敬意を表するとともに、更なる人材育成や技術力の向上を図られ、活力に満ちた沖縄県造りにご支援をお願いします。」と述べられ、受賞者の皆様の今後の活躍に期待されました。